



2010年HYC第三回レース委員会 議事録

議事録作成 田口藤孝(トリトン)

1. 開催日時 H22年11月3日(祭) 16:30~17:45
於:HYCクラブルーム
出席者(各委員、敬称略)犬飼一道(委員長:牛若丸) 小原雅之(副委員長:ボス)
新井憲弥、新井由紀子(ジュゲム) 野原啓之(北斗) 井上竜一(七福神)、田口藤孝(トリトン)
欠席者(各委員、敬称略)伊藤達男(シオン) 内藤清朗(ビスコンティーナ)
真野泰人(ココペリ) 畑内広幸(ウェーブホット) 余川辰哉(副委員長:七福神)
2. 議事
 - 1) H23年 年間レーススケジュールの立案等について
 - ・葉山マリーナ(HMYC)側のスケジュールと重複しないよう考慮し、HYCの年間スケジュールを決定する。名称変更なし。犬飼委員長に一任する。
(背景: HMYC内の初心者的なグループの参加要請を考慮)
 - ・6/24-26 A級ディングー選手権 9/16-19全日本学生女子選手権があり、日程調整する。(葉山管理事務所からの情報)
 - ・決定案を、葉山町ヨット協会ジュニアヨットの井上様へ連絡し、最終決定とする。
(背景: 港湾内の管理状況調整等のため)
 - ・レースコミッティの割り振りを含め、G1(仮称)レースは、経験豊富なコミッティーを今月末までに決定する。
 - 2) マーク等レース備品の購入
 - ・マーク3個のうち、2個が空気漏れやぶれあり。新規にマーク(筒状)2個購入する。選定・購入手配は、犬飼委員長に一任する。
 - ・アンカーロープ延長作業の簡素化に鑑み、延長ロープ結合用の金具(千円程度)10個程度の購入を決定。選定・購入手配は、新井委員に一任する。
 - ・レースに使用するハンディ(風見)は購入済み。
 - ・トランシーバーは、現状あまり使用されていないので、今後は使わない予定。
(背景: 実態は、携帯電話になっており、支障ない)
 - 3) 委員の役割分担
 - ・レース備品の管理、実運営等については、新井レース委員の協力を頼ってきた部分を、レース委員会の組織として役割の分担を行う。新井委員が、都合が悪い場合は、他のレース委員に早めに連絡し引き継げるようにする。

- ・レースコミッティ担当艇の予定が年間交代で決まっているが、年1回あるか無いかなので、毎回初心者になり、順番が近づくと、実務に精通した前レース委員長池田氏・犬飼レース委員長・新井委員への問い合わせが頻発する。負担軽減の方法を考える。実地要綱の早めの連絡。パソコン内のシステムの告知等。
- ・レースコミッティの割り振り役、実施要領等の伝達役、広報役を、HYCレース委員会として「北斗」(野原委員)に依頼する。
- ・池田前レース委員長に月例レースのTCFについて、次レースの最終集計の書き込み等をしていただく。いずれは、レース委員が担当できるようにする。

4) 初島レースのTCFのあり方について

- ・HYCで開催する権威あるオープンレースとして位置づけ、艇の仕様・緒元に基づく『公式・固定TCF』とする。TCFは各オープンレース等の資料等を参考に平準化し、レース委員会で決定する。参加艇の窓口をオープン化し、参加艇の増加を図る。
(主催者からは、TCFの再検討要請あり。)
- ・但し、HYCとしての親睦・振興を配慮した「特別賞」も、平行して検討し、設定する。
(例：合計年齢最高賞、最年少賞、女性最多参加賞他、開催前のアナウンスが効果的！)

5) 月例レースのTCFのあり方について

- ・現状のTCF算出ロジックが、わかりにくく、一部に不公平感もあり、改善していく。
(背景：実力のある艇が評価されない。レーティングのコントロールが可能)
但し、良い点は、どの船も勝つチャンスがある。
- ・現状のTCFは、半年間のレースタイム総計が、一位と同一になるよう係数が算出されている。毎回変わる。
- ・月例レースをすべて同一のTCFで行うのでは無く、初島レースの様にクルーザーレースとしての性格の強いレース、およびHMYCとの親睦レースをG1(仮称)レースとして位置づけ、『公式・固定TCF』を適用する。初島と同様にTCFをレース委員で決める。
G1(仮称)レースは初島回航レース、烏帽子回航レース、小網代回航レース、HMYC親睦レースに決定。
- ・その他の月例レースは、一応従来のTCFロジックでTCFを決定し、1年間実施する。今後、HYCとしてふさわしいTCFを熟考し、多数の参加艇が会場し、皆楽しめるレースが出来るよう検討していく。

以上